

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	町内会による街区公園管理事業				事業期間 第6期総合計画 の位置付け	— 年度 ~ 年度				所管課係	土木課維持係
	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外		4-5-1	他に関連する 基本事業	6-1-1	—		
目的 (何のために実施する のか)	町内会の協力を得て街区公園の管理を行うことで、市民と協働のまちづくりの意識を高めてもらうとともに、地域住民に、親しまれている公園を目指す。					手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域住民・町内会に街区公園の管理について協力を働きかけ、奉仕活動に対して謝礼を支出している。				
対象 (誰・何を対象として いるのか)	街区公園、町内会。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	地域のコミュニティ活動が図られることによって、市民と協働のまちづくりの理解が深まり、より地域住民に親しまれる公園となる。				
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	地域住民・町内会に理解と協力を働きかけ、街区公園の管理（主に草刈り）を住民の奉仕活動により実施している。平成17年度から1年に2箇所ずつの団体に働きかけ、平成24年度現在13箇所の街区公園で実施されている。										

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計画 計	
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0
		予算計上額				0				0					0
		実績額				0				0					0
	道費	計画額				0				0					0
		予算計上額				0				0					0
		実績額				0				0					0
	地方債	計画額				0				0					0
		予算計上額				0				0					0
		実績額				0				0					0
	その他	計画額				0				0					0
		予算計上額				0				0					0
		実績額				0				0					0
一般財源	計画額	315,000	340,000	390,000	1,045,000	320,000	345,000	395,000	1,060,000	320,000	320,000	395,000	395,000	1,430,000	3,535,000
	予算計上額	315,000	315,000	320,000	950,000	320,000	320,000	320,000	960,000	320,000	305,000	305,000	280,000	1,210,000	3,120,000
	実績額	315,000	315,000	320,000	950,000	320,000	320,000	320,000	960,000	305,000	305,000	280,000	280,000	1,170,000	3,080,000
事業費合計	計画額	315,000	340,000	390,000	1,045,000	320,000	345,000	395,000	1,060,000	320,000	320,000	395,000	395,000	1,430,000	3,535,000
	予算計上額	315,000	315,000	320,000	950,000	320,000	320,000	320,000	960,000	320,000	305,000	305,000	280,000	1,210,000	3,120,000
	実績額	315,000	315,000	320,000	950,000	320,000	320,000	320,000	960,000	305,000	305,000	280,000	280,000	1,170,000	3,080,000
事業費予算の内容		市内13公園	市内13公園	市内13公園		市内13公園	市内13公園	市内13公園		市内13公園	市内12公園	市内12公園	市内11公園		
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	前年度同額	面積の見直し		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	1公園の減	前年度同額	1公園の減		
	実績との比較 (増減理由)	同額	同額	同額		同額	同額	同額		1公園の休止による減	同額	1公園の休止による減	同額		

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：協力団体の数	指標の求め方：実施団体の数 (予定箇所数：全16箇所)											
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：協力団体の数	指標の求め方：実施団体の数 (協力団体が増えることで地域コミュニティの活性化が図られ、協働の理解が深まった成果と捉えられることから活動指標と同じ指標とした)											

事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/箇所)	計画値	13	14	15		16	16	16		16	16	16	16	
		実績値	13	13	13		13	13	13		12	12	11	11		
	成果指標 1 (単位/箇所)	計画値	13	14	15		16	16	16		16	16	16	16		
		実績値	13	13	13		13	13	13		12	12	11	11		
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					あまり達成されていない				あまり達成されていない					あまり達成されていない
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					変わらない				変わらない					変わらない
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない				変わらない					変わらない
		総合評価					普通である				普通である					普通である
	事後評価	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。	判断理由：人員の確保、費用など課題を解決する必要はあるが、人員の確保など難しい問題もあるため、現状維持になっている状況であり、このような判断をした。	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。	判断理由：人員の確保、費用など課題を解決する必要はあるが、人員の確保など難しい問題もあるため、現状維持になっている状況であり、このような判断をした。	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。また活動休止中の公園についても復活に向けて協議していく。	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。また活動休止中の公園についても復活に向けて協議していく。	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。また活動休止中の公園についても復活に向けて協議していく。	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や費用が少ないなどの課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。また活動休止中の公園についても復活に向けて協議していく。	判断理由：人員の確保、費用など課題を解決する必要はあるが、人員の確保など難しい問題もあるため、現状維持になっている状況であり、このような判断をした。	
		今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続					現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)		H25： 今後は、町内会に協力要請する中で聞き取り等を実施して改善が必要などについては、協議を進めていく必要がある。				H28： 今後は、町内会に協力要請する中で聞き取り等を実施して改善が必要などについては、協議を進めていく必要がある。				H30： 今後は、町内会に協力要請する中で聞き取り等を実施して改善が必要などについては、協議を進めていく必要がある。						

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	緑化推進事業（緑と花の祭典）				事業期間	昭和 50 年度 ～ ー 年度						所管課係	土木課都市計画係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	4-5-2	他に関連する基本事業	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
目的 (何のために実施するのか)	自然を守り、生活環境の中の緑を生み育て、緑との交流を深め、緑あふれる公園都市をつくる。							手段 (どのような方法で実現するのか)	市民会議に祭典事業費として交付金を交付する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	緑あふれる公園都市推進市民会議（市民15団体）							成果 (どのような効果が得られるのか)	市民が祭典を楽しみながら緑との交流を深め、まち全体での花や木の植栽を促進する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯（行革内容含む）	昭和49年3月、「緑化基本計画」がまとまり市民とともに「10万本緑化作戦」が展開され、これを推進するために昭和49年8月に「緑あふれる公園都市推進市民会議」が発足。緑化に対する市民意識の高揚から「砂川市緑化条例」が制定され、さらに北海道で初めての緑化都市宣言が同年9月に宣言された。これを記念して、昭和50年、「市民会議」主催による第1回「緑と花の祭典」が開催され、平成23年までに37回開催されている。													

【DO】

実績

（単位：円）

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計画 合計		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投 入 さ れ た 事 業 費 の 推 移	国 費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0		2,800,000	2,800,000	5,600,000					0	5,600,000
	そ の 他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
一 般 財 源	計画額	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	11,280,000	28,200,000	
	予算計上額	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	11,280,000	28,200,000	
	実績額	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	20,000	20,000	2,860,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	990,440	9,450,440	20,770,440	
事 業 費 合 計	計画額	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	11,280,000	28,200,000	
	予算計上額	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	11,280,000	28,200,000	
	実績額	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	8,460,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	990,440	9,450,440	26,370,440	
事 業 費 予 算 の 内 容		緑と花の祭典実行委員会交付金	緑と花の祭典実行委員会交付金	緑と花の祭典実行委員会交付金		緑と花の祭典実行委員会交付金	緑と花の祭典実行委員会交付金	緑と花の祭典実行委員会交付金		緑と花の祭典実行委員会交付金	緑と花の祭典実行委員会交付金	緑と花の祭典実行委員会交付金	緑と花の祭典実行委員会交付金			
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額			
	実績との比較 (増減理由)	同額	同額	同額		同額	同額	同額		同額	同額	同額	事業中止による減（準備着手済みのため発生費用のみ支出）			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：市からの交付率				指標の求め方：交付金額/予算金額								
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：集客数				指標の求め方：主催者発表延数								
指標	活動指標 1 (単位/%)	計画値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
指標	成果指標 1 (単位/人)	計画値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
		実績値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	0
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている								達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					変わらない								変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない								変わらない
	総合評価					良好である								良好である
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 緑と花の祭典は春の砂川市の行事として定着しており、花の苗の配布など賑わっている。	自己分析： 緑と花の祭典は春の砂川市の行事として定着しており、花の苗の配布など賑わっている。	自己分析： 緑と花の祭典は春の砂川市の行事として定着しており、花の苗の配布など賑わっている。	判断理由： 人口が減少する中、多くの市民が毎年協力及び来場していただいていることから良好と判断した	自己分析： 緑と花の祭典は春の砂川市の行事として定着しており、悪天候により会場が移動したにもかかわらず、花の苗の配布など賑わっている。	自己分析： 緑と花の祭典は春の砂川市の行事として定着しており、花の苗の配布など賑わっている。	自己分析： 緑と花の祭典は春の砂川市の行事として定着しており、花の苗の配布など賑わっている。	判断理由： 人口が減少する中、多くの市民が毎年協力及び来場していただいていることから良好と判断した	自己分析： 緑と花の祭典は春の砂川市の行事として定着しており、花の苗の配布など賑わっている。	自己分析： 緑と花の祭典は春の砂川市の行事として定着しており、花の苗の配布など賑わっている。	自己分析： 緑と花の祭典は春の砂川市の行事として定着しており、花の苗の配布など賑わっている。	自己分析： 新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、史上初めて事業を中止した。感染症の動向は今後数年は状況が不透明であること、開始から46年を経過していることを踏まえ、市民会議においてポストコロナにふさわしい行事のあり方を検討する必要がある。
今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続					現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：春の砂川市の行事として市内外に定着しており今後も継続する事業と考える				H28：春の砂川市の行事として市内外に定着しており今後も継続する事業と考える				H30：春の砂川市の行事として市内外に定着しており、今後も継続する事業と考えるが、主催者の市民会議における現在の課題として、内容の緑化推進から観光振興へのシフト、会議構成団体内の高齢化によるスタッフの減少および参加団体の減少など市民参加の減少基調、厳しい財政事情による事業の縮小見直しの実施がある。引き続き運営状況を注視しつつ交付金による適切な支援を継続していきたい。					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：花の苗の配布数量				指標の求め方：配布株数									
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：植樹樹植栽面積増加の達成率				指標の求め方：平成32年度面積ー平成23年度面積を100%とする									
指標	活動指標 1 (単位/株)	計画値	10,000	10,000	10,000		10,000	10,000	10,000		10,000	10,000	10,000	10,000	
		実績値	10,000	10,000	10,000		10,000	10,000	10,000		10,000	10,000	10,000	10,000	
成果指標 1 (単位/%)	計画値	0.0	11.0	22.0		33.0	44.0	56.0		67.0	78.0	89.0	100.0		
	実績値	0.0	5.9	3.0		1.0	-25.5	-30.0		-24.1	-25.1	-9.2	22.8		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										達成されていない
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				あまり上がっていない										上がっていない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている										少し上がっている
	総合評価				普通である										問題がある
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：植樹樹植栽の新規団体登録は増えており、緑化意識の高揚と地域コミュニケーションが図られている。	自己分析：植樹樹植栽の新規団体登録は増えており、緑化意識の高揚と地域コミュニケーションが図られている。	自己分析：植樹樹植栽面積は増えており、緑化意識の高揚と地域コミュニケーションが図られている。	判断理由：植樹樹植栽の新規団体登録や面積は少しずつであるが、増えており、緑化意識の高揚と地域コミュニケーションが図られていることから普通と判断した。	自己分析：工事などの突発的要因に加え、高齢化の影響により団体数および植樹樹植栽面積は減少しているため、対策を考えていく必要がある。	自己分析：工事などの突発的要因に加え、高齢化の影響により植樹樹植栽面積は減少しているため、対策を考えていく必要がある。	自己分析：高齢化の影響により植樹樹植栽面積は減少しているため、対策を考えていく必要がある。	判断理由：全体的な傾向として、団体数はやや増嵩しているものの、高齢化の影響により植樹樹植栽面積は減少している。制度の見直しを含め、抜本的な対策を行わない限り、この傾向は変わらないと考える。	自己分析：植樹樹植栽面積は新規団体の登録および実施箇所の見直しにより実績は微増した。地域コミュニケーションの増進は図られているが、高齢化の影響による全体的な減少傾向は継続しているため、対策を考えていく必要がある。	自己分析：植樹樹植栽面積は微増し、引き続き地域コミュニケーションの増進は図られているが、高齢化の影響による全体的な減少傾向は継続しているため、対策を考えていく必要がある。	自己分析：植樹樹植栽面積は増加し、引き続き地域コミュニケーションの増進は図られているが、高齢化の影響による全体的な減少傾向は継続しているため、対策を考えていく必要がある。	自己分析：一部団体の積極的な拡大や休止団体の復帰により、植樹樹植栽面積は大幅に増加し、過去最大の面積となり、引き続き地域コミュニケーションの増進は図られている。しかし、計画値には届いておらず、高齢化・人口減少の影響による全体的な減少傾向は継続しているため、対策を考えていく必要がある。	判断理由：団体数は入れ替わりがあるものの横ばいで、高齢化の影響により植樹樹植栽面積は減少している。制度の見直しを含め、抜本的な対策を行わない限り、この傾向は変わらないと考える。
	今後の方向性				現状のまま継続										手段の見直し
	方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：既存団体から来年も面積を増やしたい旨の申し出があり、緑化意識の高揚と地域コミュニケーションが図られていることから、継続する事業と考える。今後は、高齢化に伴い、活動団体数や面積の縮小も予想されることから、その対策も考えていく必要がある。				H28：予想された通り、高齢化に伴い、活動団体数や面積の縮小が進行している。本事業の目的は緑化意識の高揚と地域コミュニケーションの増進であり、行政と市民との協働事業として非常に意義深いものであることから、目標の達成を図るために手段の見直しが必要と考える。具体的には、単価・対象作業・対象品種の精査による拡大も含めた見直しと、市民に対する周知の強化を検討したい。				H30：過去3年程度は実績は横ばいであり、拡大増進は見込めない状況である。また各団体において新規参加者の確保に苦慮しており、とくに活動目的が緑化運動を中心としている同好団体などは今後解散の可能性もあり、現状維持についても予断を許さない状況である。本事業の目的は緑化意識の高揚と地域コミュニケーションの増進であり、行政と市民との協働事業として非常に意義深いものであることから、目標の達成を図るために手段の見直しが必要と考える。市民周知の強化と、単価・対象作業・対象品種の精査による拡大も含めた見直しを実施したい。					